

For all the citizens
学校統廃合について考える
すべての方へおくる

あなたは子どもたちに
どんな教育を受けてもらいたいのですか？
あなたはどんな地域に
暮らし続けたいのですか？
稲沢市のこれからの教育と学校を考えるシンポジウム

消える小学校第一弾、
山本由美教授講演会にて、
学校規模と教育内容の充実は
必ずしも比例しないことが明らか
になりました。「小規模校では切磋琢磨できない、
学力が低下する」という言説が流布していますが、
今一度、子どもたちの教育について考えてみませんか。
また、子どもの元気な姿はまち全体を活気づけます。
誰にとっても最良の方法を探してみませんか。

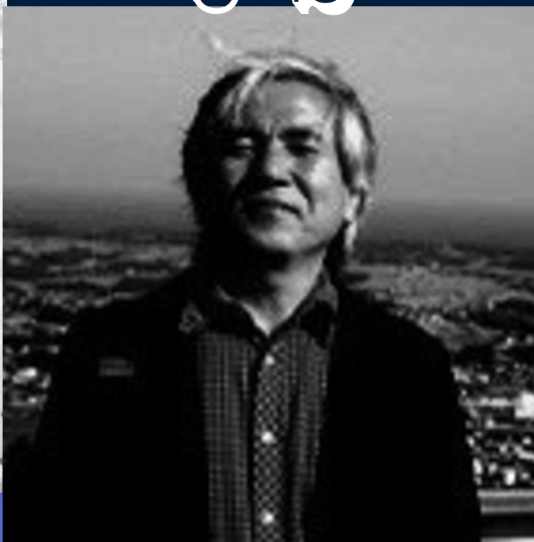
PANELIST 1



福井一徳 FUKUCHI Kazuo

元岐阜県山県市議会議員。
山県市教育委員会がこれ以上の
統廃合を進めない方針を決める
結果となった、影の立役者。
市民目線で、統合しない
山県学園構想について語る。

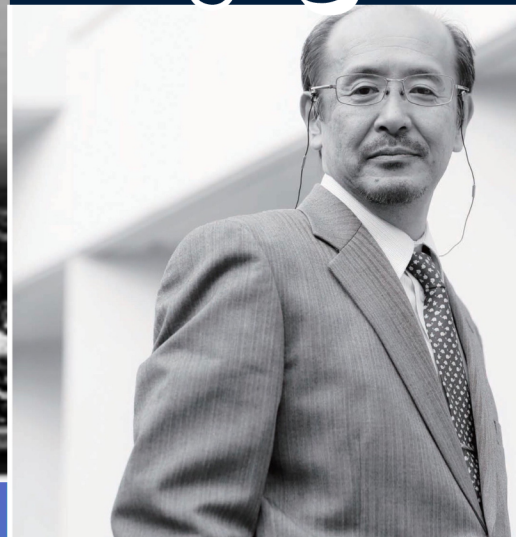
PANELIST 2



井川敏郎 IKAWA Toshiro

元愛知県中島地方の教員。
開明小、稲沢西中、稲沢東小、
牧川小、下津小。
大規模校と小規模校のどちらも
経験。
教員の目線から、教育について
語る。

PANELIST 3



山本敏郎 YAMAMOTO Toshiro

日本福祉大学名誉教授。
研究分野は子どもの主体的学び
および生活指導、アソシエー
ションと自治、教育と福祉など。
学者目線で、学校と教育につい
て語る。